

東北地方 3か月予報

(7月から9月までの天候見通し)

平成22年6月24日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう3か月の天候 >

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
この期間の平均気温は、平年並または高い確率がともに40%です。降水量は、平年並または多い確率がともに40%です。

7月 東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、平年並または高い確率がともに40%です。降水量は、平年並または多い確率がともに40%です。

8月 東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。気温の低くなる時期がある見込みです。

気温は、平年並または低い確率がともに40%です。降水量は、平年並または多い確率がともに40%です。

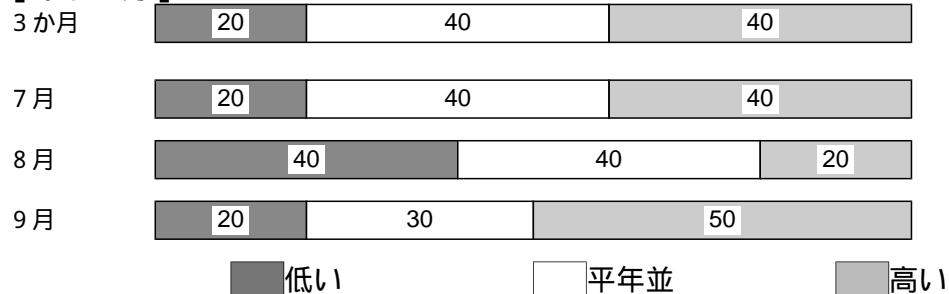
9月 天気は数日の周期で変わり、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。残暑が厳しい見込みです。

気温は、高い確率が50%です。

< 向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%) >

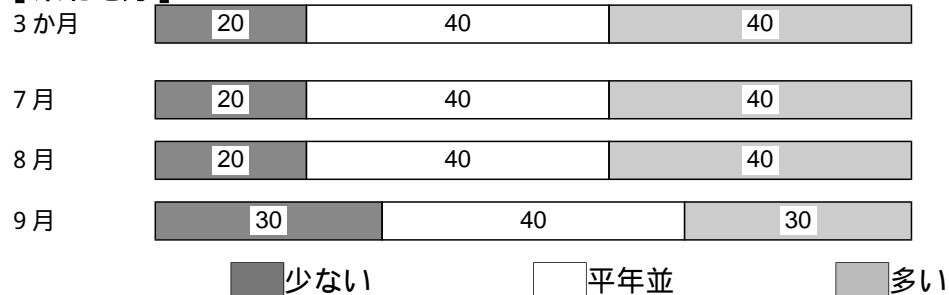
< 気温 >

[東北地方]



< 降水量 >

[東北地方]



< 次回発表予定等 >

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は6月25日

3 か月予報：7月22日（木） 14時

7月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量、日照時間）

	気 温 ()				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	7月	8月	9月	7月～9月	7月	8月	9月	7月～9月	7月	8月	9月	7月～9月
青森	21.1	23.0	18.9	21.0	102.6	129.3	119.8	351.7	177.3	190.8	160.0	528.1
深浦	21.3	23.1	19.1	21.2	146.0	157.4	176.0	479.4	177.7	185.9	155.4	519.0
むつ	19.6	21.7	18.0	19.7	122.8	140.4	172.7	435.9	151.1	152.8	144.4	448.3
八戸	20.2	22.3	18.6	20.4	117.1	139.8	167.7	424.6	169.0	173.3	144.1	486.4
秋田	22.8	24.5	19.9	22.4	178.1	181.9	177.9	538.0	171.5	200.4	154.9	526.8
盛岡	21.8	23.2	18.3	21.1	165.7	177.8	157.5	501.0	143.2	158.8	123.7	425.7
大船渡	21.0	23.0	19.3	21.1	170.3	198.6	218.7	587.6	150.0	161.5	119.1	430.7
宮古	20.0	22.2	18.6	20.3	139.2	180.8	229.4	549.4	149.4	165.2	123.0	437.7
仙台	22.1	24.1	20.4	22.2	159.7	174.2	218.4	552.3	127.7	155.4	119.8	402.9
石巻	21.3	23.5	19.9	21.6	131.0	127.0	163.1	421.1	147.9	178.1	134.0	459.9
山形	23.2	24.6	19.7	22.5	143.9	148.8	134.3	426.9	155.8	184.7	125.6	466.1
新庄	22.3	23.9	19.0	21.8	185.6	174.5	153.0	513.1	154.4	177.5	112.3	444.3
酒田	23.2	24.9	20.5	22.8	186.1	175.8	185.4	547.3	179.8	211.6	149.6	541.0
福島	23.5	25.2	20.7	23.2	144.8	144.3	169.2	458.3	133.4	159.7	112.6	405.7
若松	23.4	24.8	19.9	22.7	160.1	131.0	134.0	425.1	168.9	199.5	125.2	493.6
白河	22.0	23.3	19.1	21.5	186.8	228.2	215.9	631.0	129.4	154.0	111.3	394.4
小名浜	21.7	23.9	21.3	22.3	120.5	141.7	205.8	468.0	153.1	193.9	135.5	482.5

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（２）1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	7月	8月	9月	7月～9月
気温平年差()	東北地方	-0.1 ～ +0.6	-0.3 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.2	-0.4 ～ +0.3
	東北日本海側	-0.2 ～ +0.4	-0.5 ～ +0.5	-0.5 ～ +0.3	-0.3 ～ +0.4
	東北太平洋側	-0.3 ～ +0.8	-0.3 ～ +0.5	-0.4 ～ +0.3	-0.4 ～ +0.4
降水量平年比(%)	東北地方	89 ～ 117	73 ～ 117	86 ～ 110	97 ～ 111
	東北日本海側	83 ～ 123	74 ～ 107	83 ～ 108	89 ～ 109
	東北太平洋側	85 ～ 114	67 ～ 120	87 ～ 112	93 ～ 112
日照時間平年比(%)	東北地方	92 ～ 109	90 ～ 109	97 ～ 106	96 ～ 104
	東北日本海側	88 ～ 108	94 ～ 112	99 ～ 108	96 ～ 104
	東北太平洋側	93 ～ 110	87 ～ 109	97 ～ 106	97 ～ 104

（３）梅雨時期前後における各地の平年の気象経過

旬降水量 平年値 (mm)	5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
青森	30.0	22.6	26.2	23.6	30.9	27.8	36.8	27.7	38.2	43.2	33.8	52.3
深浦	41.3	33.5	34.0	29.4	44.4	33.6	54.4	43.2	48.3	53.8	38.6	65.0
むつ	35.8	27.6	28.8	36.3	36.8	35.8	48.1	39.4	35.3	43.2	32.8	64.4
八戸	26.1	28.6	30.1	26.6	38.1	34.5	48.3	31.7	37.1	37.3	38.2	61.7
秋田	46.5	40.2	36.2	29.7	50.6	47.2	71.5	61.5	45.1	56.8	51.5	73.6
盛岡	38.6	32.7	32.0	30.8	43.3	40.8	56.8	58.2	50.7	58.6	43.7	75.5
大船渡	50.0	55.9	43.9	50.9	60.7	57.6	63.0	69.1	38.2	50.3	56.9	91.5
宮古	31.9	35.5	31.0	29.5	43.7	44.1	53.8	46.4	39.0	49.5	50.0	81.3
仙台	33.7	45.0	29.3	31.6	42.4	63.8	55.7	63.5	40.5	55.3	45.4	73.6
石巻	33.3	37.6	27.3	27.2	31.9	52.6	46.1	52.1	32.9	36.1	33.3	57.6
山形	27.0	30.3	24.0	24.4	28.2	50.0	44.5	56.2	43.2	50.1	36.3	62.4
新庄	40.5	35.8	30.4	25.7	45.3	60.0	64.4	78.1	43.1	60.5	45.3	68.6
酒田	44.7	37.7	34.4	24.9	46.4	56.7	70.1	70.7	45.3	57.4	40.0	78.4
福島	25.9	35.8	25.8	25.4	31.4	61.4	46.5	53.6	44.8	45.7	36.5	62.2
若松	27.5	29.3	23.7	20.3	33.7	61.7	56.1	60.5	43.5	47.2	39.1	44.8
白河	40.4	41.3	38.2	40.1	55.5	72.0	65.0	69.4	52.4	65.8	62.8	99.7
小名浜	48.3	60.3	38.5	35.3	47.4	67.1	49.5	46.3	24.7	46.3	33.5	61.9

旬日照時間 平年値 (h)	5 月			6 月			7 月			8 月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
青森	64.7	68.3	77.5	64.0	59.6	57.1	53.8	56.3	67.2	67.0	60.8	63.1
深浦	58.4	63.9	75.1	64.5	58.6	56.6	52.7	56.1	68.9	63.3	61.8	60.8
むつ	64.9	65.4	77.5	61.2	52.8	48.7	47.3	45.8	58.0	57.6	46.5	48.9
八戸	65.6	64.9	77.1	61.9	56.5	50.5	51.0	51.5	66.6	62.8	56.3	54.3
秋田	56.9	61.2	73.2	65.6	59.5	53.1	49.3	52.8	69.5	65.5	68.0	66.9
盛岡	61.3	61.7	71.9	57.8	51.3	42.6	42.2	42.0	59.1	56.4	52.9	49.6
大船渡	61.1	61.1	74.1	59.0	50.1	39.1	45.3	41.9	63.0	59.3	51.4	50.9
宮古	61.6	59.4	70.8	55.3	45.3	39.8	44.9	40.8	63.9	57.7	54.7	53.0
仙台	63.5	60.6	74.6	54.1	43.1	30.9	35.7	37.0	55.4	56.3	49.5	49.7
石巻	65.1	63.8	77.6	59.5	48.6	37.6	42.6	44.5	62.4	62.7	57.9	57.6
山形	62.9	62.0	76.9	62.2	52.3	39.3	42.7	43.2	70.0	61.9	61.8	61.0
新庄	55.7	56.8	67.6	59.7	53.2	39.9	40.8	45.3	68.4	60.6	61.3	55.6
酒田	60.5	62.3	76.6	66.2	60.0	49.7	46.5	53.4	80.0	71.0	72.3	68.3
福島	64.1	59.7	74.2	54.6	43.6	32.0	37.8	37.1	58.8	57.7	51.5	50.6
若松	62.8	60.1	74.9	63.9	53.9	40.1	46.8	45.6	76.6	67.8	66.4	65.3
白河	59.9	59.1	69.5	51.9	41.4	28.9	35.9	35.5	58.9	54.1	50.3	49.7
小名浜	62.7	62.4	74.5	58.5	44.9	35.2	42.1	41.9	69.4	66.0	65.0	63.0

(4) 接近する台風の平年値

	7 月	8 月	9 月
東北地方	0.3	0.7	0.8

< 参考資料 (利用上の注意) >

- (1) 気温 (降水量) 等は、「低い (少ない) 」 「 平年並 」 「 高い (多い) 」 の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分 (それぞれ 3 3 %) となるように決めてあります (気候的出現率と呼びます) 。
- (2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 1 0 % 以下や 6 0 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度 (3 0 % 、 4 0 %) の確率しか付けられません。
- (3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い (少ない) 場合は「平年に比べて多い (少ない) 」、また平年の日数と同程度に多い (少ない) 場合には「平年と同様に多い (少ない) 」と表現します。

東北地方 3 か月予報解説資料 (7～9 月)

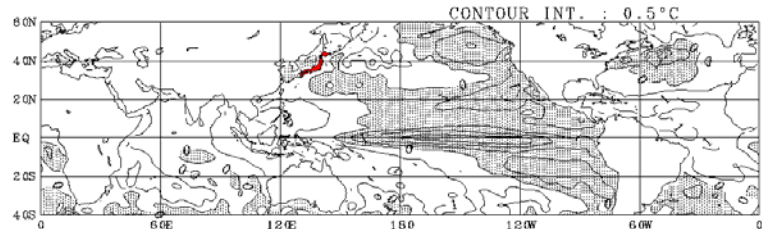
平成 22 年 6 月 24 日 仙台管区气象台

1. 向こう 3 か月の確率予報の特徴

	気温	降水量
7～9 月：	平年並または高い確率がともに 40%	平年並または多い確率がともに 40%
7 月：	平年並または高い確率がともに 40%	平年並または多い確率がともに 40%
8 月：	平年並または低い確率がともに 40%	平年並または多い確率がともに 40%
9 月：	高い確率が 50%	各階級の確率の偏りは小さい

2. 数値予報（アンサンブル予報）による海洋と大気の流れの予想

数値予報による海面水温偏差の予想(右上図)では、中～東部太平洋赤道域は負偏差となり、今後秋にかけてラニーニャ現象が発生する可能性がある。インド洋は正偏差で高温が続く見込み。

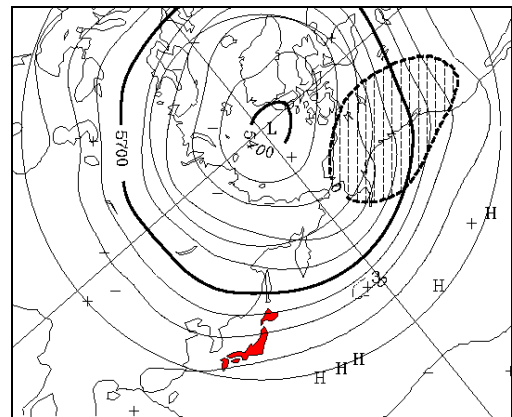


3 か月平均の海面水温偏差の予想図

等値線は 0.5℃ 毎。陰影部は負偏差

熱帯の降水量の予想(図略)では、インド洋の海面水温が高いことに関連し、7 月・8 月はベンガル湾からフィリピンおよびその東で対流活動が平年より不活発となる。

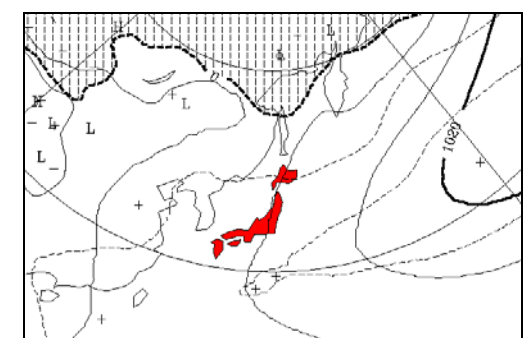
500hPa 高度(右中図)では、北半球のほぼ全域が正偏差で、エルニーニョ現象に伴い北半球全体で大気が暖まった状況が見られる。



3 か月平均の 500hPa 高度と偏差の予想図

実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎
陰影部は負偏差（一般に寒気に対応）

海面気圧予想図(右下図)では、太平洋高気圧は沖縄・奄美など西への張り出しは強いが、本州など北への張り出しは弱い。この傾向は予報期間の前半に明瞭に見られる。ただし、6 月 22 日発表の異常天候早期警戒情報の資料などから、7 月のはじめは日本の東海上で太平洋高気圧が強まり、全国的に南からの暖かく湿った気流の影響を受けやすい。なお、オホーツク海高気圧については明瞭な傾向が見られず、出現の可能性を平年程度に見込む。



3 か月平均の海面気圧と偏差の予想図

実線は等圧線 4hPa 毎、点線は偏差 1hPa 毎。
陰影部は負偏差

今後秋にかけてラニーニャ現象が発生する可能性があり、9 月はベンガル湾からフィリピンで対流活動が活発となる。亜熱帯ジェットは北に押し上げられる予想となっており（図略）、太平洋高気圧の北への張り出しが強まる。

月別の海面気圧予想図(図略)などからは、

7 月：低気圧や前線の影響で平年に比べ曇りや雨の日が多いと予想される。はじめは日本の東海上で太平洋高気圧が強まり、南からの暖かく湿った気流の影響を受け、気温は高い見込み。

8 月：太平洋高気圧の北への張り出しは弱く、気圧の谷や上空の寒気の影響で、平年に比べ曇りや雨の日が多いと予想される。気温の低くなる時期がある見込み。

9 月：天気は数日の周期で変わると予想される。残暑が厳しい見込み。

<参考資料>

平年の天気出現日数（日）

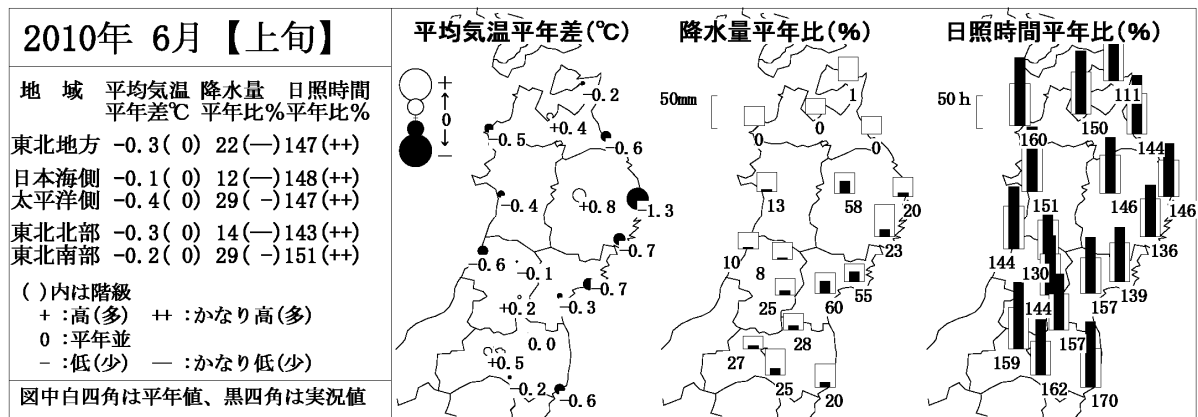
	7 月		8 月		9 月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	14.6	12.6	18.1	15.8	14.3	13.2
雨の日	10.9	11.1	9.7	9.9	12.5	12.0

晴れの日、雨の日は、それぞれ「日照率 40% 以上の日数」、「日降水量 1mm 以上の日数」を用いている。

3. 最近の天候経過

6月上旬：この期間、高気圧におおわれ晴れの日が多かった。4日から5日と10日は上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で雷雨となった所があった。気温は、期間の前半は寒気の影響で低温となったが、その後は高気圧におおわれ晴れて高温となった。

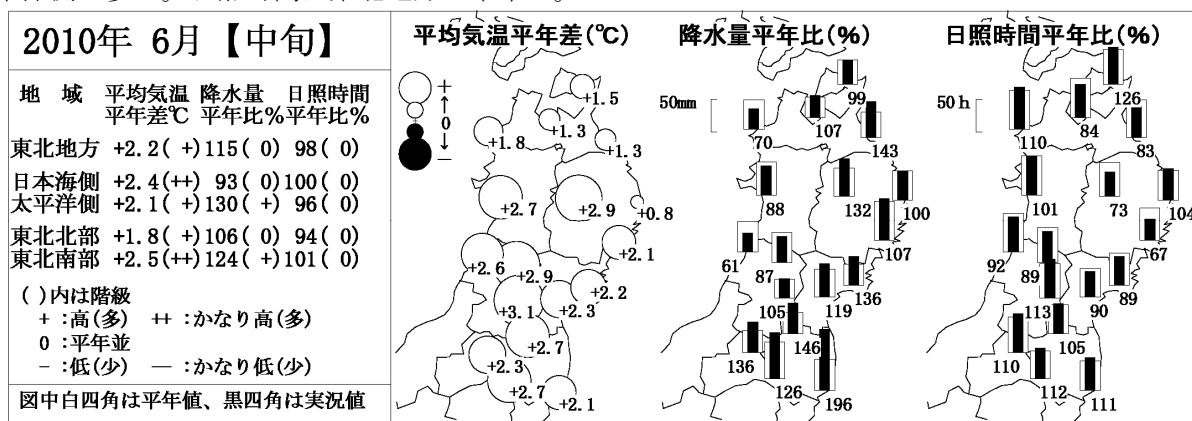
平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北地方でかなり多い。



東北地方における6月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差(比)

6月中旬：期間のはじめは高気圧におおわれ晴れたが、期間の中頃以降は前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。16日は前線が北上し、まとまった雨となった。20日は上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で雷雨となった所があり、青森県で浸水などの被害が、宮城県でひょうによる被害が発生した。気温は、日本付近に南から暖気が入っている影響で高温となった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北地方で平年並。

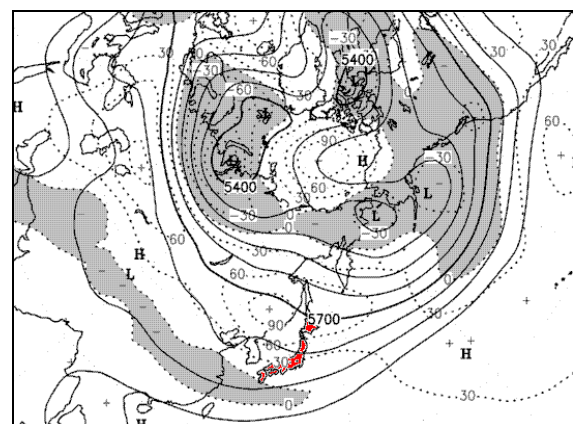


東北地方における6月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差(比)

4. 今月の循環場の特徴

6月(20日まで)：500hPa 高度は、東半球では高緯度帯で負偏差、中緯度帯で正偏差となった。朝鮮半島から北方に気圧の尾根があり、日本付近は中国東北区に中心を持つ正偏差域におおわれた。

太平洋高気圧の北への張り出しが弱く、梅雨前線が北上しにくい状態となり、九州から関東地方にかけての梅雨入りは平年よりかなり遅かった。東北地方では、東北南部で6月14日頃、東北北部で6月16日頃に梅雨入りしたと見られる。梅雨入りまでの期間は、高気圧におおわれ晴れの日が多かった。



6月1日～20日の平均500hPa 高度

実線は等高線60m 毎、点線は偏差30m 毎、陰影部は負偏差